

# グリーンフラッグ 7月の活動

## ～とにかく暑い7月～

気温35度以上・・高温注意報が出される日々となりました。地球がおかしくなっているのでしょうか。

6年生の理科では、植物が二酸化炭素を吸って、酸素を作り出していることを気体検知管を使って実験をしました。

ハウセンカの周囲にあった二酸化炭素は時間が経過すると量が減り、酸素の量が増えていました。

植物は、酸素だけでなく日陰を作り、人間達を直射日光からまもってくれます。身近な植物の存在意義を理科学習から学びました。



(二酸化炭素3%→0.03%へ)

## カヤネズミの住みかが・・・

以前カヤネズミの巣が川の土手に2つできていたのはご報告しました。

7月のある日、少人数の教室の窓を開けると大きな音が！土手の草刈りが始まったようで、カヤネズミの巣が気になったのですが見に行けずじまいでした。カヤネズミの巣が払われると思いました。

案の定、陰も形もなくなっていました。定年観察をしようと思っていたのですが、思ったら、すぐやらないとこういうことになるのかと反省です。どうか、次は、ほほえみ広場の方に巣を作ってもらえるとありがたいです。

それは相川小の都合ですね。



## =大豆を植えよう！=



5年生が大豆の苗を植えるための準備をしました。土を耕して、害虫予防のために職員室で飲んだコーヒーの出し殻を乾かした物を畑に蒔きました。他の学年の畑もたくさんの作物があったので、ついでに5年生がコーヒーの出し殻を蒔いてくれました。

土の準備ができたので、大豆の苗を植えました。今年も「津久井の大豆100粒運動」に参加して、種をいただきました。

畑は、地域の方に耕していただき、土はふかふかになっていました。収穫に大きな期待が膨らみます。昨年大豆の収穫は2.5kgでした。今年はそれを大きく上回るかと思っています。



## ～植物のネームプレート～



環境委員会の子供達、専門家の方から、樹木の名前を教えてくださいました。それをもとにネームプレートを作りました。夏休みに入る前に子供達が樹木にプレートをつけていきました。2学期に活用して欲しいです。

## ～ タコノアシ ～

「ほほえみ広場」のビオトープに「タコノアシ」という植物が自生



していました。「タコノアシ」は、湿地や沼地、休耕田などに生息していましたが、開発によりその場所が減少したり、生育環境がセイタカアワダチソウと重なったりして減少した「準絶滅危惧種」とありました。